

「老中八策」 尊厳ある「高齢期人生」を送るための指針はこれ！

「老中八策」 尊厳ある「高齢期人生」を送るための指針

- 一 六五歳から九〇歳までの二五年を他力依存でなく過ごすため「自立意識」を確立中
 - 二 「引退余生」でなく「現役長生」で社会参加を続けながら「高齢期人生」を実現中
 - 三 培ってきた知能技能を活かして高齢期の暮らしを豊かにする「優れモノ」を制作中
 - 四 体(≧病気)・志(≧認知症)・行(≧介護) 三つのバランスで「包括ケア」を体現中
 - 五 「三世代(青少年～三〇歳 中年～六〇歳 高年～九〇歳+) 現役型」社会を創出中
 - 六 日また一日欠かさずに出て「地域生活圏」(「助け合い」の文化圏)の形成に参加中
 - 七 高齢者が集う「居場所」でそれぞれの自己目標をみんなで論じて解決策を協議中
 - 八 水玉模様のような小さな会に加わり各地各界の仲間同士と成果を分け合い連携中
- 注：「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」(高齢者五原則)は国連が提唱する国際的指針。

丈風の会 2015・1・1+